中央高校 同窓会報

大阪市立中央高等学校
同窓会
２０１４年５月１日発行
〒５４０－００３５
大阪府大阪市中央区釣鐘町
１丁目１番５号
TEL ０６－６９４４－４４０１
＜題字＞ 鈴木千秋先生

校長挨拶

校長　勇士幸子

木々の緑が日ごとに深くなる今日この頃、同窓会員の皆さまもお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、本校では、3月10日に第22回卒業式を行い、厳かでありながら温かく和やかな雰囲気の中、卒業生を送り出すことができました。卒業証書を受け取る時のひとりひとりの晴れやかな笑顔を私は決して忘れることはないと思います。この卒業生たちは、同窓会員として皆さまの仲間入りをさせていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4月8日には、平成26年度の入学式を行いました。普通科、ビジネス科、編転入生合わせて277名の入学生を迎え、多くのご家族の皆さまにもご出席いただき、晴れやかな式となりました。

教職員にも多くの異動がありました。4年間、様々な面で本校を支えてくれた中野教頭先生のご勇退をはじめとし、多くの先生や職員のみなさんが本校を去られ、代わりに新しい教職員の方々が着任されました。本校の昼夜間単位制という特色ある制度に慣れるまでは、たとえベテランであっても戸惑うことが多いと思いますが、生徒と一緒に笑い、悩み、考えながら、「中央らしさ」を楽しんでほしいと思っています。

今、校内は大変活気づいています。授業では、生徒の皆さんが真剣に学習に取り組んでいますし、部活動も例年以上に活発になりそうです。本年度も、生徒や保護者の皆さんに「入学してよかった」と感じていただき、笑顔で卒業していただけるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいりますので、これからも、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会員の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

代表理事挨拶

代表理事　斎藤知宏

早いもので今年も桜は散り去り緑の薫る季節を迎えました。

昨年度は卒業生118名を輩出し、本会会員は3275名となりました。本来ならここで、今後も会務の遂行にとご挨拶するところですが、今年は残念なお知らせをしなくてはなりません。

これまで活動の中心となっていた当職含む役員数名が、それぞれの事情により学校を中心拠点とした活動に従事できなくなりました。それによって、会務の大幅削減を行わざるを得なくなりました。

既にこの会報をご覧いただいてお察しとは存じますが、会報の大幅なページ削減を行いました。様々な案を検討いたしましたが、紙ベースの発刊を今後も継続することを優先した結果、今回の形となりました。

また、懇親会も今年は中止することになりました。最も大きな理由としては、我々ホスト側の人員不足が挙げられます。外部施設を利用する案もありましたが、当日の参加人数の事前把握が困難なことから廃案にせざるを得ませんでした。

また、出席者の減少も理由のひとつです。過去には卒業生だけで100名近かった懇親会の出席者も、今や40名程度の出席者しか集まらない状況です。悪い意味でのしがらみもない反面、帰属意識も低いという中央の校風が、出席者の少なさや、ひいては役員確保の困難にも繋がっているのかもしれません。

いずれにせよ従来の懇親会は現状のニーズにあっていないのではないか、と考えております。今後再開するにせよ、内容については改めて再考いたします。

毎年楽しみにしてくださっていた会員の方々には大変申し訳なく思っております。どうぞご理解のうえ、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

先生方からのメッセージ

―それぞれの道、往きし皆へ―

「小説」　岩﨑彰先生（商業科）

人生という「小説」の第一章を書き終えて約二ヶ月が経過しました。社会人あるいは学生として、第二章を書き始めたところだと思いますが、筆は順調に進んでいますか？第一章の最終ページの「中央高校編」は、読み返してみると、規則が少なく自由で、しかも外敵から守られた過ごしよい所であったと改めて認識したことでしょう。できるなら、もう一度戻りたいと思ったのではないですか？

でも、第二章からは、誰も手伝ってくれません。自分自身で書き続けなければなりません。他から邪魔が入って、なかなか筆が進まないこともあるでしょう。そして、白紙もコピペも許されません。

かくいう私も、まだ「小説」を書いている途中です。読み返すと、赤面するところや、変な文章になって消しゴムで消したいと思うところが多数ありますが、書き直しは出来ません。

私の勝手な思いですが、あなたたちには、力強い字で、オリジナルの文章を書いて欲しいと思います。私のように、読み返して赤面しないように…。そして消しゴムで消して書き直しは出来ないということを覚えておいてください。

2013年懇親会　校章入りのケーキ

堤野弘治先生（商業科）

卒業生のみなさん、無事に卒業式を迎え、卒業することができて本当に良かったと心より思っています。

昔の時代劇ドラマの主題歌に「人生楽ありゃ苦もあるさ」というフレーズがありました。この言葉だけを見ると「人生は楽があって、まあたまには苦もあるよね」というふうにも読み取れます。しかし、これからみなさんも大人になるにつれてだんだん「人生楽は少しで苦ばかりが多いなあ」と感じるようになるでしょう。

大人は自分で責任を負わなければならなくなる分、苦労が多くなってきます。大変ですね。目の前に嫌なことが起こった場合、今まではそこから目を背けて逃げることが出来たかもしれません。しかし、これからは逃げてばかりはおれません。というよりも、これからは積極的に「苦」に立ち向かってください。逃げても逃げても追いかけてきますよ。「苦」に立ち向かってそれを乗り越える努力をしてください。

人は皆、「苦」を克服したとき、それまでのことを忘れさせてくれるくらいの幸福感を味わうことが出来るのです。そうして、「人生は楽しい」というふうに思えてくるのかもしれませんね。

山田一繁先生（商業科）

卒業生のみなさん、私からみなさんに『常に考える』という言葉を送りたいと思います。

それは「考えろ」という命令・指示ではなく「考えよう」という提案・呼びかけでもありません。誰かに言われたからではなく、自らの意志で自発的に考えるということです。

今どうすべきか、将来どうあるべきか、常に考え試行錯誤を繰り返し、自らの意志で自分の人生を突き進んでほしいからです。精一杯努力して人生をエンジョイしてください。

峯松雅彦先生（社会科）

卒業生のみなさん、自由な雰囲気のこの学校で卒業できたことは素晴らしいことだと思います。君たちは一人一人が強い意志を持ち、自己管理をし、それぞれが抱えているさまざまな困難や課題を乗り越えることができたからこそ、現在があるものだと思います。だから君たちは、この中央高校を卒業したことに自信と誇りを持って、これから生きていってほしいと思います。

これからも「学ぶ心」を忘れないでください。生涯学習という言葉があります。学習と言っても成績とか単位のための学習ということではなく、生きていくための情報収集、人生を楽しむための知的な道楽とでも言ったほうがいいのかもしれません。「知は力なり」という言葉もあります。学ぶということは、知識と知恵の力によってより強く、より自由に、そして、より幸せに生きることにほかありません。

みなさんの今後のご活躍を期待しています。

「天神様にて想ったこと」

中河喜美江先生（家庭科）

先日、クラスの生徒の進路もほぼ決まり、暖かい日差しということもあり、ちょっと寄り道して大阪天満宮の天神様にお礼のご挨拶に行って参りました。本殿にお参りした後、社をぐるりと一周すると、寒風吹きすさぶ中、おそらくかじかんだ手で書かれたのであろう筆筋の「合格祈願」の絵馬束が、小春日和のそよ風に小刻みに音をたてておりました。それはまるで、天神様が「あなたたちの努力の道程を私はすべて知っていますよ。一人一人の持っている無限の気持ちの広がりを私はいつも信じていますから」と、ささやいておられるような優しい音でした。

一方、その対面側は、急流を登りきった鯉のみが竜となることができるという「登竜門」を模した造りになっていて「さあ、君も自分の力を試してみよ、このあとの人生にいかなる逆風が吹こうとも、ひるまず、ここで良しとせず」と、こちらもまた、新たなる挑戦に突き進んでいく者へ天神様から更なるエールをいただいているような気さえもいたしました。

今一度振り返ってみると、皆さんのここまでの道程はいかがでしたか？　おそらく今日まで山あり谷あり、ある時には転び、ある時には怪我をしながらも、這い上がり、立ち上がりした成果として今日の卒業があることと思います。しかし、確かな事実は、自分自身でそう願い、それが叶うように行動したということです。

「目標なき者努力なし。努力なき者成果なし」あなた達は、無限エネルギーを持っています。どんなに使ってもどんどん増えていくエネルギー、それが若さの特権です。エネルギーを出し惜しまなければ、急流を上る鯉のように必ずや登竜門を超えることでしょう。

「視程観測」

藤原哲郎先生（数学科）

若葉の季節となりました。同窓生の皆さまはご活躍のことと思います。一昨年中央高校に赴任し、23組のチューターとして、今春卒業生を送り出しました。

私は高校時代のクラブ活動で、地学部に入っていました。活動のひとつとして、毎日気象観測を行っていました。日々の気象観測では気温、湿度、風向、風力などの他に、視程観測がありました。校舎の屋上より、周囲の決められたビル、タワー、ガスタンク、そして山々が肉眼でどの程度見えるかを調べるものです。「対象物の見え方と気象条件の関係を考え、自然の法則に迫る」というのが本来の楽しみですが、別の楽しみもありました。友人関係、進路で悩んだとき、一人屋上より遠くの生駒・金剛・葛城の山々を眺めていると、自分の悩みがちっぽけに見え、心の中の雲が晴れていきました。

冬の風の強い日は遠くの山々もはっきり見えます。先行きが不透明な現在、しっかり未来を見据えて、力強く生きていきたいと思います。

2013年懇親会　集合写真

ご退職及びご転出された先生方

【ご退職された先生方】

中野　勝　教頭先生
生駒　雅則　先生（英語）
竹下　淳一　先生（社会）
上西　麻也美　先生（養護）

【ご転出された先生方】

米田　博志　事務長
岩﨑　彰　先生（商業）
葛本　光孝　先生（数学）
黒川　泰佑　先生（英語）
小林邦太郎　先生（商業）
佐々木靖孝　先生（保健体育）
島田　聖一　先生（理科）
冨安　真喜　先生（商業）
森口　善喜　先生（商業）
山田　一繁　先生（商業）
渡部　健　先生（保健体育）

右記の先生方は２０１４年３月末をもってご退職及びご転出されました。

中央高校でお世話になった日々は忘れません。これからのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

お世話になりました

中央高校生の活躍～2013年度

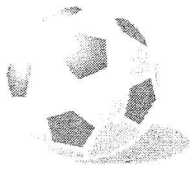
サッカー部
全国高等学校定通制大阪府予選（春季大会）　優勝

バスケットボール部
府立実業高等学校定時制総合体育大会　優勝

男子バレーボール部
府立実業高等学校定時制総合体育大会　優勝

バドミントン部
全国高等学校定通制大阪府予選
個人　優勝（小原洋祐）
個人　準優勝（中田龍之介）

水泳部
大阪市立商業高等学校水泳大会
男子200メートル個人メドレー　優勝（川上純弥）
男子50メートルバタフライ　優勝（川上純弥）



卓球部
実業大会　個人　準優勝（鳥谷柚人）

税に関する作文
優秀（谷本賢梧）

大阪市立高校英語ビジネスプランコンテスト　優勝
（長瀬帆南・中津文花・畠田佳奈・山田真生・大森れい）

芸術祭ポスターコンクール
奨励賞（茂木あすか・佐野つばさ）

同窓会協賛金について

平素は本会の運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。
２０１３年度は13名の方々より５８２６０円の協賛金をいただきました。役員一同、心より御礼申し上げます。

ご協力いただいた皆さま

出射　恭子さん
小野加代子さん
川井雄一郎さん
菊本　貴弘さん
土田　周平さん
坪根　伸司さん
中村　太郎さん
藤田清太郎さん
堀　則　明さん
前　田　勝さん
安田　善直さん
山本多眞樹さん
太鼓部OB会

ありがとうございました

これからも同窓会役員一同、本会の維持と更なる発展に努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。
なお、協賛金の振込みに関しては同封の振込用紙をご利用ください。

※今年4月以降にお振込みいただいた方は来年度の会報にて御礼申し上げます。ご了承ください。

口座番号：００９８０－７－２４４２０５
加入者名：大阪市立中央高等学校同窓会

同窓会WEBコンテンツ　―同窓会の最新情報はこちらからチェック！―

公式サイト→

同窓会公式サイト　http://chuodousoukai.web.fc2.com/

同窓会Facebookページ　http://www.facebook.com/chuodousoukai/

中央高校同窓会では卒業名簿を作成するなどの理由で会員の個人情報収集を民間業者を含む第三者に委託することは一切ございません。「委託を受けた」「代行している」と偽って個人情報を収集する悪質な業者にはご注意ください。